

～馬毛島の自衛隊施設の完成時期について～

発行日：令和6年9月25日

お問い合わせ先：中種子町役場自衛隊対策室

☎27-1111 内線(268・278)

馬毛島の自衛隊施設の完成時期について、令和6年9月10日に防衛省から提供を受けた情報をお知らせします。

なお、工事に関しては、安全に万全な体制を求めると共に、町民の皆さまの生活に影響が出ないように配慮を求めています。

【防衛省からの説明内容】

●馬毛島における施設整備に係る工程の精査について

馬毛島における施設整備は、令和5年1月の工事着手以降、外海に位置し、社会インフラが全く整っていない離島での大規模工事という特殊な施工条件の中、進めてきました。

工事着手後の実績や新たに判明した状況を踏まえ、工事受注者等と連携し、現場の状況を踏まえて今後の工事について検討を進めてきたところ、

- ・資機材等のこれまでの海上輸送実績に基づいた、今後の輸送計画の精査
- ・馬毛島内の仮設宿舎について、資機材輸送の実績に加え、本年1月に発生した能登半島地震による資機材や人員の不足
- ・工事開始後に判明した、馬毛島島内の盛土利用が困難な土の取り扱いに係る課題といった事情を勘案し、事業全体の完了が令和11年度末（令和12年3月末）の見込みとなることが判明しました。

なお、運用開始に最低限必要となる施設は、引き続き早期に完成させる考えです。

また、旧種子島空港で実施しているブロック制作についても馬毛島における施設整備と同様、令和11年度末まで実施する見込みです。

■馬毛島の自衛隊施設整備事業の工事工程

完成見込み：令和11年度末（令和12年3月末）

工事区分	工事工程						
	令和5年	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
飛行場施設							
飛行場関連施設							
駐機場等施設							
航空保安施設							
格納庫							
飛行場支援施設等							
貯蔵関連施設							
訓練施設							
港湾施設							
係留施設等							
揚陸施設							
仮設棧橋						撤去工事	
仮設工事						撤去工事	

※) 本工事工程及び工事計画は、現場条件等により変更されることがあります。

※) 熊本防衛支局が公表した「馬毛島の自衛隊施設の完成時期」を基に中種子町が作成。

■参考：馬毛島基地（仮称）建設工事に従事する工事関係者数（実績）

(単位：名)

		令和5年					令和6年				
		2月	4月	6月	8月	10月	12月	2月	4月	6月	8月
種子島	宿泊施設	120	150	160	160	140	160	140	190	170	90
	賃貸物件	100	280	350	300	380	450	520	470	440	380
	仮設宿舎	140	200	360	520	870	1080	1050	1060	1140	1340
	自宅等	150	180	180	140	170	110	90	90	90	100
	小計	510	810	1050	1120	1550	1800	1800	1800	1840	1910
馬毛島	仮設宿舎	—	60	200	400	580	1000	1480	1640	1840	2290
計		510	870	1250	1520	2130	2800	3280	3440	3680	4200

(注1) 各数値は1桁目の位を四捨五入している。そのため内数の和が小計と合わない場合がある。

(注2) 数値はR5.2・4月は1日現在、6月5日現在、8・10月は31日現在、12月22日現在、R6.2月29日現在、R6.4月24日現在、R6.6月28日現在、R6.8月は9月6日現在の数値である。

(注3) R5.8月から、馬毛島分の工事関係者数については、休暇等により一時的に馬毛島を離れる者もカウントするように集計方法を変更している。

なお、馬毛島内の仮設宿舎については、9月6日時点で約2290室整備、10月頃までに約2630室整備予定。

※将来的な工事関係者の見通しは種子島で最大2000人程度、馬毛島で最大4000人程度。

このため、馬毛島における仮設宿舎は、工事の進捗に応じて段階的に建設し、令和7年3月末までに約4200室を完成させる予定。

資料提供:九州防衛局企画部地方調整課基地対策室